

総合特別区域の進捗に係る評価
[ライフ・イノベーション分野]

令和元年度

柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 (4.8+4)/2=4.4

4.4

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	各主体の参画による活動の活性化	122%	5
2	新ビジネス創造と地域経済の活性化	102%	5
3	AEMSを活用した環境配慮型都市の確立	250%	5
4	先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築	77%	4
5	虚弱予防活動の展開	111%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 4 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 5 = 4.8$

4.8

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標4は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 (3.6+2.8+3.2)/3=3.2

3.2

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.6

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.8

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.2

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.6

- ・ライフ・イノベーションの課題に関しては当初から一貫して産官学民で真剣に取り組む姿勢が見えない。別のプログラムから立ち上がったフレイルサポーターの登録数を目標に加えるなど、断片的な構成であり、現段階に至ってもトータルヘルスケアステーションのビジョンが見えず、戦略とスキームが明確でない。
- ・3軸の1つを構成する「地域の健康・介護」の領域での牽引力が弱い。リーディング事業者の設定や組織化がうまく行われていないことが原因とみられる。
- ・住民主体のまちづくりプロジェクト施設管理、ベンチャー支援が順調に進展している一方で、トータルヘルスケアサービスの供給は新型コロナウイルスの影響を考慮しても計画通りとは言えない。地域のニーズや地域のサービス供給体制の現状に基づき本プロジェクトで供給するサービスを選択することも必要ではないだろうか。
- ・新型コロナ禍における通所系の課題を踏まえ、訪問リハの独自の役割や有効性を考慮したトータルヘルスケアの視点が必要ではないか。
- ・評価指標(1)-(3)の各事業については方向性、事業進捗とも順調なものとして評価できる。
- ・数値目標(3)「駅前周辺街区におけるCO2排出量削減率」はきわめて良好な成果を上げているが、世界のCO2排出量削減率を鑑みて目標の見直しが必要ではないか。
- ・評価指標(4)「先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築」及び評価指標(5)「フレイル予防サポーター活動数」については、コロナウイルス感染拡大の現状とポストコロナの状況を見据え、事業進捗や目標の見直しが必要ではないか。
- ・数値目標(4)-②「特区事業所の訪問リハビリテーション及び介護予防訪問リハビリテーション年間実施件数」の実績値が減少している理由として、事業所の撤退が挙げられているが、その理由についてより具体的に要因分析を行い、改善方策の検討を行う必要があるのではないか。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.6

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.4+3.2+3.6 \times 2) / 4 = 3.7$

3.7

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。